令和5年度　白河市立白河第三小学校「学校経営・運営ビジョン」

【白河市教育大綱で掲げる人づくり】
1　郷土を知り、郷土を愛する人
2　幅広い文化・芸術に親しむ人
3　自ら学び、自らを高める人
4　自ら判断し、自ら行動する人
5　礼儀正しく、思いやりの心を持つ人
6　自然を敬い、自然を大切にする人
7　健やかな体を育む人
8　世界にはばたく高い志を持つ人

教育目標

【白河三小の教育目標】
自分に問いかけ、進んで考え行動する、心も体も健康で明るい子ども

保護者（この学校に通わせてよかった）
児　童（この学校で学んでよかった）
教職員（この学校に勤めてよかった）
→ みんな大好き「笑顔あふれる白河三小」

【児童の実態から期待できること】
○３つの感を重視した授業の質的改善と共に「ぐんぐんタイム」や「漢字・計算コンクール」等の授業外の取り組みにより、基礎・基本の定着が図られてきている。今後、主体的な学習態度を身につけることによって、一層の学力の向上が期待できる。
○ＱＵテストの活用や「ハッピータイム」により良好な人間関係が構築されてきている。さらに、あいさつ・返事の指導の工夫によって、よりコミュニケーション能力の向上が期待できる。
○素直で明るく、思いやりの心が育ってきている。さらに道徳教育の充実及び具体的な体験の場と機会の設定によって、より実践的な態度・粘り強くやり抜く心の育成が期待できる。

保護者の願い
○ 思いやりの心を持って行動してほしい
○ あいさつ・言葉遣いをよくしてほしい
○ 学習習慣を身につけてほしい
○ 基本的な生活習慣を身につけてほしい

育てたい子ども像
○ あいさつ・返事ができる子ども
○ あきらめない子ども
○ 思いやりある行動がとれる子ども

めざす教師像
○ 愛情と厳しさを持って導く教師
○ 常に児童とともにある教師

教育目標の具現化のための重点実践事項

重点目標１・知力
主体的な学びと学力向上
○「わかる・できる・楽しい授業」の実践（校内研修の日常化）
・「必要感」「一体感」「実感」の重視
・「学び方」の振り返りと活用力の習得
○ 基礎基本の定着と学習習慣づくり
・ぐんぐんタイムの充実
・漢字・計算コンクールの計画的な実施
・家庭学習スタンダードの活用と家庭学習の習慣化

重点目標２・心力
円滑な人間関係の構築
○ 明るく元気なあいさつ・返事の指導
・あいさつ及び返事に対する共通理解
・時と場に応じたあいさつの指導
・呼名、指示等に対する返事の徹底
○ コミュニケーション能力の育成
・ハッピータイムの継続実践
・道徳教育の充実
・意図的・計画的な異年齢交流

重点目標３・信頼
積極的な児童支援の推進
○ 学級づくりの充実
・HyperQUテストの実施と活用
・ルールとリレーションの徹底
○ 不登校ゼロ・いじめ解消100％
・「先生あのね作文」の実施
・各種アンケート（児童・保護者）の実施
○ 生徒指導上の問題への確実な対応
・学校全体の問題として丁寧な対応
・組織的で迅速な対応

重点目標４・健康・体力
健やかな心と体の育成
○ 心を耕す読書活動の推進
・図書バッグの活用による読書の日常化
・目標読書数（低75冊、中50冊、高30冊）
○ 郷土を愛する教育の推進
・地域素材を活用した体験学習の実施
○ 運動能力・体力の向上
・コオディネーショントレーニングの実施
・行事と関連させた体力作り
（運動会・持久走・縄跳び等）

令和4年度2学期末児童・教職員・保護者アンケート
・学校は楽しい　・学校の施設・設備は整っている
・忘れ物をしない　・健康に気をつけて生活している
・思いやりをもって生活している　・先生は悩みや相談に応えている
※「できている」「だいたいできている」と回答した割合8割以上

令和5年度到達目標
①　漢字・計算コンクール合格者数前回比増
②　不登校児童　０　　③　いじめ　０（いじめ解消100％）
④　図書室貸出本数今年度比増
⑤　体力テスト全国平均を上回る項目数が前学年比増
⑥　教職員不祥事　０